



# みちしるべ



仙台市立五城中学校第3学年



## 新年度がスタートしました！

中学校生活最後の学年がスタートしました。今年度は9年間続いた義務教育終了の年であり、子供自身が卒業後の進路を選択・決断する大切な年でもあります。この1年が3年生の皆さんにとって実りあるものになることを願っています。

この進路だより「みちしるべ」では、オープンスクールや進路決定に関する様々な情報、生徒に伝えたいことなどをお伝えしていきます。御家庭でも御子様と一緒に読んでいただき、話題にしていいただければと思います。

## 最初の一歩にすべきこと（生徒の皆さんへ）

### ① 普段の授業の受け方・生活の仕方を見直しましょう。

- ・授業への取り組み方（個人として、クラスとして）を考え、50分授業に集中して取り組みましょう。
- ・授業に対して欠課、見学、欠席をできるだけ少なくしていきましょう。
- ・提出物の扱いや仕上がりを丁寧にし、しっかり期限を守りましょう。
- ・受験には評定が大きく関わります。観点別評価（A, B, C）の状況で評定が決まりますので、Cをなくす努力とAを多くする努力が進路選択の幅を広げることに繋がります。公立入試では、中学3年間の評定に対して受験科目にない実技教科（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）の評定を2倍にして計算します。毎時間の授業が勝負ということになります。気を引き締めていきましょう。
- ・生活面では、奨励服の着こなし、言葉遣い、挨拶、欠席・遅刻・欠課などについて今一度見直してみましょう。受験当日だけ体裁を整えても、ちょっとした仕草や癖から、その人の日頃の様子が見えてくるものです。受験においては、重要なチェックポイントになります。

### ② 夏休みは1, 2年生の復習を中心にし、基礎・基本を確立させましょう。

- ・限られた時間の中で、効率良く、内容の濃い学習をしていきましょう。特に、夏休みは1, 2年生の学習内容をしっかり復習しましょう。入試内容の6割くらいは、1, 2年生で習ったところから出題（基礎と応用）されます。
- ・基礎・基本の力がないままで、応用問題や入試過去問題に取り組んでも力は伸びません。まずは、自分の苦手な部分をしっかり把握し、弱点克服にじっくり取り組みましょう。それでも、何から学習を始めて良いかわからない人は、教科担当の先生に相談しましょう。
- ・残された時間は1年を切りました。カウントダウンが始まっています。時間はだれにでも平等にありますが、進路選択に費やす時間をどのように生み出せるかが、大きな鍵となります。受験を意識した時間の生み出しを早めに行い、生活リズムを整えていきましょう。

### ③ 受験関係書類(プリントも含む)は丁寧に扱い、保護者の方に渡しましょう。

- ・受験関係書類はすべて提出期限厳守のものです。保護者の方に記入していただくことがほとんどですので学校から渡されたものは、その日のうちに保護者の方に渡しましょう。